

特別養護老人ホーム 杏樹苑滔々館

(杏樹苑滔々館短期入所事業所含む)

1、総括

杏樹苑滔々館は、個別化された住環境を生かしご自宅での生活からの「暮らしの継続」の視点を大切にした事業運営に努めて参りました。標準感染予防策は継続しながら施設全体で行うイベントや各ユニット単位や、個別の趣向に合わせた趣味活動もコロナ禍前と同様に実施することが出来ました。

内外の各種業務の連携に関しては、感染対策を図りながら対面形式により生まれる内容の充実を主眼に集合形式を中心にオンラインも取り入れながら開催を図って参りました。職員の資質向上に関しては、研修計画を作成し内外の参集型研修への参加を調整しながら、職員個々に研鑽を図ることが出来ました。杏樹苑滔々館は、在宅の方を受け入れる短期入所生活介護が併設されておりますので、外部との繋がりが切り離せない環境のため、引き続き感染症の発生に注視しながらの事業運営となりましたが、全体を通しては昨年度と同様に高い水準で運営が図れたと思っております。

利用実績におきましては、安定的に入居希望者を確保することができました。運営に大きな影響を及ぼします入院者数も抑えることが出来ております。これは、質の高い他職種連携が継続的に図れたことによる相乗効果が最大の要因と考えております。様々な感染症の発生は続いておりますが、引き続き出来る限りご利用者の生活は変わらず快適な「暮らしの継続」が提供できる施設運営を図って参りたいと思っております。

2、重点取組の成果と課題

重点取組実施項目	実施内容と成果について	次年度への課題
快適な環境	感染予防を継続しながら、外出機会を提供出来た。苑内での買い物場を計画的に提供する事で楽しめる空間づくりに努めた。	施設全体のイベントと外出機会を増やし、個々の要望に合わせた対応も行い楽しめる環境を提供していきたい。
充実と満足	各種会議でケア見直しやアセスメントをする事で、ケア統一を図る事が出来た。	引き続き個別ケアに努めて、食事の提供方法に力を入れて行きたい。
健康と安全	「その人らしい」生活の場を提供できるように、健康管理に努め、安全に生活できるよう多職種での連携を行った。適切な感染対策を行いながら、入居者及びご利用者様が安心して生活していけるようにできた。	疾患を持ちながらも、「その人らしい」生活を維持できるように、必要な医療提供に努めていく。施設での感染の取り組みを維持向上させていく。学生を受け入れ、施設に携わる職員の育成に協力していく。
奉仕活動団体等の受け入れ	コンビニの方に来苑して頂き、自分で選び購入することを楽しんで頂く場の提供が定着し、傾聴ボランティアの方に来苑して頂き、話をする機会の提供が出来た。	感染対策は引き続き継続しながら、ボランティアの受け入れなど交流の場を増やしていきたい。
職員の資質向上	集合型の研修機会を増やし、課題を設けることで職員に考える機会を作ることで、身のある学び場を設けることができた。	集合、オンライン様々な形の研修を計画し、現場の職員が意見を言い合える研修を行い、全体的なスキルアップを目指して行きたい。
外部機関との連携	今年度は100歳を超える方の入所も数名あり、日々の観察に各課で努めることができた。苑内での連携がスムーズに行うことができるようになり、万が一、入院となった際にも医療連携が行い易い状況となった。また、療養型病院への転院を希望される方もあり、医療	来年度も、主治医のみならず医療機関との連携を図り、入居者並びに利用者の方々に安心して生活して頂けるように努めていく。看取り介護のみならず、療養型病院へ転院される方の医療連携の構築に努力していく。ご家族との面会やイベント参加などの機会を増や

	連携に努めた。外部との連携に新たな機能が加わり、利用を検討するなど幅が広がったと考える。ロングでショートステイを利用されてからの入所者も多くあり、稼働にも繋がったが入院者が多く出てしまったことは苑内での課題となる。	し、社会との繋がりを支援していきたい。ご家族とご入居者の方と過ごす時間が有意義なものとなるような環境づくりを苑内で行っていく。機能訓練課が発足されたことでリハビリやレクリエーションが充実していることを周りに周知されるべく、来年度も営業活動を行い、ご入居の待機者確保と新規ショートご利用者の確保に努めていく。
業務連携	メールなどデータでの共有を進めペーパーレス化を進めることが出来ました。PDCAサイクルでの報告を行う事で、効率的な記録の入力や、やり取りが出来るよう図った。	更にペーパーレス化を進め、引き続きPDCAサイクルを取り入れた情報共有や書式の統一を継続していく。

3、利用実績（入居定員 70 名 短期入所定員 20 名）

	特養 延べ人数	特養 稼働率 (%)	ショートステイ 延べ人数	ショートステイ 稼働率 (%)	新規入 居者数	退居者 数	入院者 延べ人 数
4 月	2,045	97.38	523	87.17	2	1	10
5 月	2,096	96.59	504	81.29	0	2	18
6 月	1,972	93.90	563	93.83	2	1	36
7 月	2,062	95.02	595	95.97	0	0	43
8 月	2,059	94.88	622	100.32	1	1	31
9 月	2,001	95.29	579	96.50	0	1	28
10 月	2,015	92.86	613	98.87	0	2	39
11 月	1,907	90.81	553	92.17	2	3	55
12 月	1,961	90.37	594	95.81	0	0	85
1 月	1,909	87.97	610	98.39	0	3	108
2 月	1,747	89.13	640	114.29	2	0	110
3 月	1,955	90.09	708	114.52	0	1	122
合計	23,729 人	平均 92.86%	7,104 人	平均 97.43%	9 人	15 人	685 人

4、事業実績

オンコール出動件数	7 回
面会者延べ人数	1331 人
入居相談件数	62 件
ボランティア等受け入れ総数	26 人
実習生等受け入れ総数	8 人
虐待事例等受け入れ件数	0 件
ケアカンファレンス実施回数	118 回
サービス担当者会議実施回数	26 回
セーフティネット事業	0 件

開催委員会・会議（基本各月 1 回開催）
お食事会議・職員会議
衛生委員会・BCP 会議
リスクマネジメント委員会・優先入所検討委員会
身体拘束ゼロ推進委員会・虐待防止検討委員会
コンチネンスケア委員会・褥瘡予防対策委員会
感染症対策委員会
ユニット会議・ユニットリーダー会議
施設サービス部会議

行事報告

月	内 容	備 考
令和6年 4月	開設記念日（1日）、コンビニ販売（19日） 買い物レク（23日）、誕生日会	
5月	菖蒲湯週間（1日～7日）、 端午の節句（5日・6日） 誕生日会	
6月	お蕎麦の会（7日・29日）、 衣類販売（24・25日）コンビニ販売（21日）誕生日会	
7月	七夕祭り（7日）、流しそうめんの会（16日） 鰻を食べに行こう（24日・30日） 買い物ツアー（8日）誕生日会	感染症対策の実施
8月	夏カフェ&夏祭り（20日）、花火大会（23日） ぼたもちレク（14日） かき氷レク（5日）誕生日会	夏祭り杏樹苑・ 滔々館全体で 開催
9月	防災の日（1日）、さんまを食べよう（6日）敬老会（18日） 誕生日会	
10月	大運動会（29日）誕生日会 おやつを作ろう（24・26日）カラオケ大会（10日）	大運動会は杏樹 苑・滔々館全体 で感染症対策の 上実施
11月	芋煮会（1日）紅葉を見に行こう（11日） 誕生日会	
12月	ゆず湯週間、誕生日会 衣類販売（9・10日） クリスマスケーキを作ろう（24日）、忘年会（9.27日）	
令和7年 1月	初日の出を見に行こう（1日）、おせち（1日） お餅つき（3日）、鏡開き（11日）誕生日会 初詣に行こう（21・23日）	近隣の神社に 初詣
2月	節分（3日）、コンビニ販売（21日）、誕生日会	
3月	雛祭り（3日）、 誕生日会	
・その他サークル活動・通年実施行事等 体操教室（月曜日～金曜日 午前中） おしゃれクラブ（月曜日 午後） フラワーアレンジメント（火曜日 午後） 書道・絵手紙教室（木曜日 午後） 脱力ヨガ（金曜日 午後） 午後のみんなで運動（不定期） みんなで唄う会（不定期） ・行事実施成果と次年度への課題（反省点） 今年度は感染対策を継続しながらユニット毎でご利用者、ご入居者の希望や好み、やりたいことを伺い、希望に沿ったイベント、外出の実施に取り組むことが出来たと思います。 次年度も、引き続き感染対策は考えながら杏樹苑・杏樹苑滔々館全体でのイベントもそうですが、個々人の希望を叶えられるように努めて参ります。		